

アフターコロナを見据えて新たな働き方に対応したICT業務環境を構築するため、**実証実験環境の構築と次期業務環境の設計**を行うもの

## 1. 次期業務環境整備にあたっての基本的な考え方

### スマート自治体への転身

- (1) デジタル社会に対応した多様な働き方を実現できる環境の整備  
庁舎外や自席以外での業務遂行を実現できる環境整備
- (2) 業務効率化を実現できる環境の整備  
部署の特性を踏まえて生産性のあがる環境を整備。
- (3) 情報セキュリティ対策が徹底できる環境の整備  
三層分離は維持しつつも、効率化が実現できる環境整備



・次期業務環境整備の検討へ反映させるため、**実証実験を行う環境を構築**  
・ネットワークの最適化・再構築など職員の知見だけでは対応できないことから、**次期ICT業務環境整備に係る設計業務を委託**

## 2. 補正予算の概要

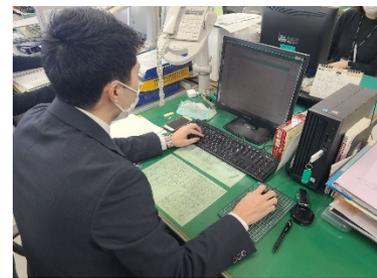
- 事業費合計：17,970千円**
- 【内訳】(1) 庁内無線化実証環境構築**  
次期業務環境整備の検討へ反映させるため、実証実験環境を構築  
消耗品費：55千円（ディスプレイ変換アダプタ）  
委託料：3,231千円（認証サーバ・PCセットアップ）  
使用料：1,738千円（MSOfficeソフトライセンス等）  
備品購入費：3,310千円（認証サーバ、アクセスポイント等）
- (2) 業務環境設計業務委託**  
ネットワークの最適化・再構築などICT業務環境に設計を委託  
委託料：9,636千円

## 3. 次期業務環境整備に向けたスケジュール

- 【令和3・4年度】**
- 実証実験環境構築 3月～5月
  - 実証実験 3月～12月
  - (設計検討 3月～7月、仕様書検討 8月～12月) ← **今回補正分**
  - 設計業務委託 3月～12月
- 【令和5年度】**
- 次期業務環境構築 4月～12月 (1月以降順次切替)

## 【参考】新業務環境イメージ ※1-(1)の一例

### <現在の業務環境>



自席でしか業務できない業務環境



紙資料での打ち合わせ



### <次期業務環境>



自席以外でも、通常業務のほかWebのセミナー受講や打ち合わせが可能に。



打ち合わせもPCで。資料印刷は不要となり、資料修正もその場で可能。